

報道各位

2014.5.9
No. 140501

麹菌発酵大豆培養物（イムバランス）における幼児のアトピー性皮膚炎への有効性を確認

－（株）ファンケル総合研究所、NPO法人 アレルギー支援ネットワークとの
共同研究成果を第26回日本アレルギー学会 春季臨床大会にて発表－

ニチモウバイオティックス株式会社（本社：東京都品川区。ニチモウ(株)100%子会社）は、株式会社ファンケル総合研究所（本社：横浜市中区）ならびに NPO 法人 アレルギー支援ネットワーク（名古屋市中村区）と共に、当社の開発素材である麹菌発酵大豆培養物（商品名『ImmuBalance™<イムバランス™>』※）を用い、ビフィズス菌を加えて幼児のアトピー性皮膚炎に及ぼす影響に関する研究を、あいち小児保健医療総合センター（愛知県大府市）アレルギー科にて行った。

幼児アトピー性皮膚炎患者において、『イムバランス』(I) および (I) にビフィズス菌を加えた試験食(IB)による症状緩和効果を検討した。摂取開始前と比較して、I 群、IB 群ともに SCORAD は低下傾向が認められた。アンケートは、I 群では改善傾向を示し、IB 群では 12 週、24 週時点ともに有意な改善を認めた (p<0.01, Friedman test)。試験中に両群とも明らかな副作用は認められなかった。『イムバランス』は幼児アトピー性皮膚炎を改善し、ビフィズス菌と共に摂取することで、その作用が増強される可能性が示唆された。この研究成果は、5月9日～11日国立京都国際会館にて開催される『第26回日本アレルギー学会 春季臨床大会』（会長：福井大学・真弓光文教授）で発表する。

【主な研究実績】

■Supplementation of the fermented soy product ImmuBalance™ effectively reduces itching behavior of atopic NC/Tnd mice. (日本語：アトピー性皮膚炎自然発症 (NC/Tnd) マウスを用い発酵大豆培養物『イムバランス』のアトピー性皮膚炎の痒み改善効果) *Journal of Dermatological Science* 67: 130-139, 2012.

■Therapeutic effects of a fermented soy product on peanut hypersensitivity is associated with modulation of T-helper type 1 and T-helper type 2 responses. (日本語：ピーナツアレルギーモデルマウスに対する麹菌発酵大豆培養物の療法的な効果は、Th1 型反応および Th2 型反応の調節と関連している) *Clinical and Experimental Allergy* 38: 1808-1818, 2008.

■Effects of a novel symbiotic, ImmuBalance a food supplement in relieving clinical symptoms of Japanese cedar pollinosis: A pilot study. (日本語：スギ花粉症の臨床症状緩和における新規栄養補助食品素材『イムバランス』の有効性：パイロット研究) *Clin Exp Pharmacology Physiology* 34: S73-S75, 2007.

※ 『ImmuBalance®』：脱脂大豆を、ニチモウ独自の麹菌発酵技術によって製造された麹菌発酵大豆培養物である。 製造特許（ニチモウ）：

日本特許：2696057号、3014145号、US Patent 5885632、EP Patent 0682877.



記

【発表概要】

「麹菌発酵大豆培養物およびビフィズス菌が幼児のアトピー性皮膚炎に及ぼす影響に関する研究」

あいち小児保健医療総合センターアレルギー科

漢人直之 松井照明 中川朋子 中田如音 杉浦至郎 佐々木溪円 伊藤浩明

ニチモウバイオティックス株式会社

潘偉軍

株式会社ファンケル総合研究所

垂水千恵

【背景】

麹菌発酵大豆培養物（イムバランス）（I）は、マウスでのアトピー性皮膚炎（AD）発症抑制効果が報告されているがヒトでの報告はない。

【目的】

幼児AD患者において、（I）および（I）にビフィズス菌を加えた試験食（IB）による症状緩和効果を検討する。

【方法】

2012年12月に当科を受診した1～5歳のAD児を順にI群、IB群へ交互に割り付け、それぞれ（I）、（IB）を24週間摂取させた。継続的に試験食を摂取できたI群10名、IB群9名を対象とし、SCORADおよび症状などに関する独自作成のアンケート（全9問、5段階評価）について検討した。

【結果】

患者背景は両群間に差を認めなかった。摂取開始前と比較して、I群、IB群ともにSCORADは低下傾向を認めた。アンケートは、I群では改善傾向を示し、IB群では12週、24週時点ともに有意な改善を認めた（ $p < 0.01$, Friedman test）。試験中に両群とも明らかな副作用は認められなかった。

【結論】

（I）は幼児ADを改善し、ビフィズス菌と共に摂取することでその作用が増強される可能性が示唆された。

『ImmuBalance[®]』は、プロバイオティクス作用だけではなく、プレバイオティクス作用および直接生体に作用するバイオジェニクス作用を有していることから、それら3つの作用の相乗効果によりアレルギーから脱感作（過敏性を除去）させる。そのアレルギー脱感作は、一般の乳酸菌製品より顕著な効果を期待できると思われる。当社は、この新規の機能性素材を、アトピー性皮膚炎や花粉症、食物アレルギーやなどアレルギー疾患に困っているヒトに届けたいと考えている。

以上

【お問合せ先】ニチモウバイオティックス（株）営業部（03-3458-3510）までご連絡ください。
本リリースは、ホームページニュースでもご覧になれます。